

材料工学委員会分科会の設置について

分科会等名：材料工学将来展開分科会

1	所属委員会名	材料工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>材料は科学技術を支える基盤であり、材料自体が機能を発現する機能材料と構造物を構成する構造材料とに分けることができる。この材料の学理を体系化し材料の工学的アプローチを目指した開発手法をも包含したものが材料工学である。物理、化学、生物学などの基礎科学に立脚した材料科学は典型的な学際領域学問であり、それが工学と融合して材料工学へと発展してきた。対象とする材料も金属、半導体、セラミックス、ポリマーと多岐にわたっている。材料工学は種々の工学の基盤として認識され、さまざまな基幹産業を支える基礎となっており、優れた材料の創出は科学技術にブレークスルーをもたらすキーテクノロジーと位置付けられている。</p> <p>これまでの我が国の材料工学の研究レベルは高く、多くの材料分野で世界を先導してきた実績がある。21世紀も引き続き世界を先導するためには材料工学の更なる深化発展とグローバル化が望まれる。また、東日本大震災を契機にクローズアップされた災害対策、エネルギー、地球環境、資源枯渇などの諸問題を材料工学的観点から解決することも期待されている。本分科会は、材料工学委員会に課せられたこれらの諸課題を整理・審議し、戦略的に課題解決を推進するための方策検討・企画・広報を行うことを主たるミッションとして活動する。</p>
4	審議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間、社会、地球に調和する材料工学のあり方検討 2. 材料工学の啓蒙と広報活動の具体案作成・実施 3. 材料系学協会との連携強化案の検討・提示 <p>に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	平成29年11月24日～平成32年9月30日
6	備考	